

Isamu

PAC530SPRAY GUN

PAC530-9
スプレーガン(ナイン)

1.3mm(ベース用)



最大圧力0.4Mpa(4kgf/m²)の超小型圧力計は、PAC専用設定され、微動指針式表示は微妙な流動圧力の調整や確認が素早くできます。



塗装条件設定で最も大切な吐出量の調整は、見やすい目盛り(0~7)と全回転式ラチェット型吐出量調整ツマミを採用し、大吐出量もこなせます。



ガン本体を小型化し最大限の容量を確保。さらに「ワイド・フラットパターン」の採用で、高レベルで塗料の微粒化を実現します！

KC
KASHIMA
COAT
Since 1976

PAC...Paint Automation Control System (計数管理塗装システム)

パックスシステムとは

1987年(昭和62年)塗装作業工程の効率化を図るため、勘に頼った目分量や感覚ではなく、標準化、数値化を行うイサム独自のシステムとして開発されました。当時は「パックスシステム530」とネーミングされ、ニューカラーマッチングシステム採用により調色時間を50%短縮、計量によるロス防止で塗料を30%節約、さらに作業内容が均一化されることから絶大な評価を受けた、イサム塗料の伝統システムです。

今、再びパックス(計数管理塗装)システムの時代へ！

カップの排出口を大きくすることで水性塗料など高粘度の流動性を改善しました。

Isamu

PAC530SPRAY GUN
PAC530-9
スプレーガン(サイン)

PAC530-9スプレーガンは
水性塗料にも対応

スプレーガンの特長

- ①PAC530-9専用に開発された空気キャップは、低圧高微粒化、高塗着効率で、ワイド・フラットパターン。高難易塗色にも対応可能。
- ②最大圧力0.4Mpa(4kgf/cm²)の超小型圧力計は、PAC専用に設定され、微動指針式表示は微妙な流動圧力の調整や確認が素早くできます。
- ③塗装条件設定で最も大切な吐出量の調整は、見やすい目盛り(0~7)と全回転式ラチェット型吐出量調整ツマミを採用し、大吐出量もこなせます。

カップの特長

- ①カップ・フタ共にアルミ製としたことにより軽量化を実現。作業時の疲れを軽減します。
- ②塗料経路のプレス加工の工程を増やし、シーム(継ぎ目)部をしっかりと密着することで、シーム(継ぎ目)部の段差を少なくし洗い残しを防止します。
- ③カップからスプレーガンへの塗料経路にあるコーナー部をラウンドさせることで、塗料の流れを円滑にしました。

ボディーの特長

ISAMUオリジナルのボディーを採用し、ボディーにカシマコート処理(※)を行うことで、高硬度・耐摩耗性・耐食性に優れています。

※カシマコート処理とは

硬質アルマイトに潤滑機能を持たせ耐摩耗性の向上を実現した、金属処理加工です。

KASHIMA COAT.



スプレーガン仕様

機種名	ノズル口径	吹付空気圧力	塗料供給方式	塗料ニップル	空気使用量	塗料噴出量	最大有効パターン	本体重量
PAC530-9	1.3mm	0.2Mpa (2.0kgf/cm ²)	重力式	G1/4	210ml/min	155ml/min	260mm	390g

専用カップ仕様

製品名	塗料供給方式	容量	取付ネジG (PF)	素材	総重量	備考
バック530-9 専用カップ	重力式	400cc	1/4六角ネジ	ボディー：アルミ フタ：アルミ	131g	フリーアングル構造

パックスシステム数値管理塗装マニュアル Paint Automation Control System

対応面積 フェンダー	1 / 4 枚	1 / 3 枚	1 / 2 枚	2 / 3 枚	1 枚	1 枚以上		
吐出量 (目盛り数値)	3	4	5	6	7	8 (0)	9 (1)	10 (2)
吹付空気圧力 (Mpa)	0.06	0.08	0.1	0.12	0.14	0.16	0.18	0.2

安全のために

- 1.スプレー作業は、必ずブース設備および換気が十分に整った場所で行ってください。密閉された部屋もしくは換気に不十分な場所で作業されますと作業者が有機溶剤による中毒を引き起こす危険があります。また、防毒マスクなど、人体を保護する器具の装着を義務付けてください。
 - 2.密室で有機溶剤分が充満しますと火災、爆発の危険がありますので、決して火気のそばもしくは引火のおそれがある場所では使用しないでください。
 - 3.スプレーガンに塗料カップおよび塗料ホース、空気ホースを接続する時は、スパナを使いしっかりと締付けてください。
- 本カタログの記載事項は製品改良などのため予告なしに変更することがあります。



イサム塗料株式会社



<http://www.isamu.co.jp>

東京支店 048-444-0136
名古屋支店 052-502-0136
大阪支店 06-6308-1363
福岡支店 092-611-1360

仙台出張所 022-206-6136
滋賀工場 077-562-1360
札幌駐在所 011-823-1360
広島駐在所 082-291-1234